

# 星野市長が「手だてをとる」と明言！

## 乗合タクシー

### 住民の声に押され6月議会で

4日に行なわれた沼田市議会一般質問で、星野市長は9月末で休止予定の乗合タクシーについて、「利用者みなさんに迷惑をかけないように何らかの手だてをとりたい」と、乗合タクシー以外の方法で、住民の足を守っていくとの答弁を行いました。日本共産党の大東議員の質問に答えたものです。



宇楚井・原線の乗合タクシー

宇楚井・原一上川田線、奈良・秋塚線の「乗合タクシー」については、3月議会の予算提案において9月末で中止する方向を打ち出し、その後地域の説明会も開催していました。説明会での中止に反対する声や、「乗合タクシーを存続させる会」（野村利二氏、原二次男氏両代表）の署名運動などが進み、地域の区長会なども存続の声が出るなど、中止反対の声が高まっています。市長は、「住民の足を守れ」というこれらの声を無視できなくなったものと思われまます。しかし、井之川博幸議員が民生福祉委員協議会で、どのような方法で継続してゆくのか担当部署に質しましたが、「検討中」とのことです。確かに「住民の足を守る」ことができるかどうかは、今後の運動にかかっています。ぜひ「存続署名運動」にご協力ください。

## 市が「バス利用」アンケートを実施します

沼田市は公共交通に関する検討を進めていく資料として活用したいとして、6月15日から8、100世帯を対象として、「バスの利用状況に関する実態調査」アンケートを実施します。

沼田市内の公共交通は、路線バスによって支えられていますが、利用客が年々減少し、抜本的に見直す必要がうまれています。井之川博幸議員は、十数年前から高齢化社会が進む中で、市民の足を守るバスの運行体系として、低料金の循環(コミュニティ)バスを中心に予約制のデマンドバスなどを組み合わせ、市民に利用しやすい公共交通を実現するよう要求してきました。前西田市政は、「環状線が完成したら循環バスを検討する」と答えていました。

星野市政が今回、専門家(大学教授)も含めた検討委員会で、今後の沼田市の公共交通について検討することは歓迎できます。日本共産党は、「住民の足を守る」ために今後もがんばっていききたいと思います。

## 年金請願は反対多数で不採択に 日本共産党は採択を主張

「物価に見合う年金引き上げを政府に求める請願書」(全日本年金者組合群馬県本部 小崎洋一郎執行委員長及び利根支部 宮内堯夫支部長提出)は、9日に開かれた民生福祉常任委員会で審査され、1対7の反対多数で「不採択」となりました。

日本共産党の井之川博幸委員は、昨年の原油高騰などの影響で物価が上がり、この大不況の中で年金生活者が厳しい生活を余儀なくされていることを指摘。法律に決めたとおり物価スライドで年金を引き上げることは当然だと主張し、採択を求めましたが、他委員は、「国の財政が大変」などの理由で、不採択を主張しました。



## 医療・介護陳情は趣旨採択

「医師・看護・介護職員の人材確保、地域医療・介護の確立に向けた意見書採択の陳情書」(群馬県医療労働組合連合会 石関貞雄執行委員長提出)は、9日開かれた民生福祉委員協議会で審査され、意見書を提出しない「趣旨採択」となりました。日本共産党の井之川博幸委員はじめ2委員が意見書提出を求め「採択」を主張しました。



## なんでも相談会

ハケン切り・交通事故・サラ金など

6月18日(木) 午後6時から(毎月第3木曜日)

場所 井之川博幸市議宅

TEL24-5022

高橋場町333 4地区

主催:日本共産党沼田北部支部

2009年6月14日 No.479

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料